

平成30年度第3回学校運営協議会議事録

平成31年2月13日校長室

(順不同敬称略)

(出席者) 大阪学院大学：吉川 大阪狭山市公民館：小松

保護者代表：打越 立志館ゼミナール小中学部館長：染川

校長 教頭 事務長 首席：池田、大西 進路部長：小林 生徒指導部長：小泉

総務部長：大西 保健部長：村田 生徒会部長：船坂 教務部長：船引 1年学年主任：横田

2年学年主任：松井 3年学年主任：田中

司会教頭事務局長

[会長挨拶]

(吉川)

- ・本日の新聞に公立高校希望調査が掲載されていて、狭山高校は定員人数より多くて一安心。
- ・学校教育自己診断の結果を楽しみにしています。

[校長挨拶]

今月末に卒業式があり、来月には高校入試がある。

府立学校の平均超過勤務時間が36時間に対して、狭山高校の平均超過勤務は33時間と少ない。またストレスチェックでも基準値100のところ狭山高校の教員の平均は73と少ない。平均値27も下回っている。ストレスの少ない学校。

仕事が1人の先生に偏っているのではなく、みんなでやっていくという協力のもとで成り立っている。

[学校教育自己診断]

(大西)

相談の質問内容が少し変わったため、昨年度との比較が難しい。生徒の人権意識・国際交流の意識の数値が上がってきている。教員の解答では、人間関係の数値が高いのはストレスが少ない学校ということ。

[30年度学校経営計画]

(校長)

授業は工夫がされており、質は高い。期待に応える授業という数値は下がった。講義型よりグループ学習など変

わった授業もしているが、生徒の意識の中では授業とは、講義型というイメージをもっているため工夫した授業と捉えられなかった。生徒アンケートでは進路については肯定的な意

見が多い。高校生活の満足は80%代をキープしている。90%が理想だが、最低でも80%をキープしたい。また行事に対する評価は高いが部活動に対する評価は低い。40周年記念事業で学校施設の充実を図ろうと議論を進めている。

[31年度学校経営計画]

(校長)

来年度は挨拶や時間厳守など規律を徹底させたい。学力、生活習慣、学習習慣をつけさせたい。

[学校状況について]

(小泉)

学校全体の遅刻数が1000を切りそう。(昨年度より大幅に減った。)雨の前日に遅れないようにとアナウンスしたのが功を奏した。

(小林)

全員受験の模試を年2回実施。(7月と11月)スタディーサポートも年2回実施。(4月と8月)3年生の進路希望は多岐にわたっているのが特徴。以前は関関同立や産近甲龍が多かった。

[質疑応答]

(吉川)

先生方のアンケートで系統的な進路指導があまり思わない27%あるが、今はキャリア指導なのでよくないのでは?興味関心に応じた進路指導の数値も低い。

(校長)

来年度の教育目標を2回前の職員会議で述べた。その目標に向かって各教科で考えてもらっている。

(教頭)

教員の意識変化でこのような数値になったと考える。進路希望も多岐にわたってきたのでこれでいいのか?など考えることが多くなったからと考える。

(小松)

地域連携や国際交流など先生と生徒のギャップがある。教員はやっていると思うので周知していけばよい。いじめ内容の否定的な意見がなくなってもらいたい。

(校長)

からかいなど教員が気づきにくいものもある。教員も常にアンテナをはっている。

(染川)

高校2年せいのアンケート結果が全体的に低い評価。中だるみの時期なのか、学年の生徒の特徴か、先生とのミスマッチなのか、どう考えていますか?

(松井)

担任団と生徒の関係は悪くない。

(大西)

3年生は全体的に数値が高いのが毎年の傾向。1年生は入試の倍率が高く合格者は比較的来たい生徒が多い。

1、3年生が高いので2年生が低く見えているのかもしれない。

(校長)

派手さがないがジワジワと良く感じる学校

(校長)

昨年に比べると狭山の志願者が少ない。中学校に教員が訪問して意味がありますか？

(染川)

塾には私学の先生はかなり来る。公立高校はあんまり来ない。ただ数年前に比べて塾を通じて生徒と高校側が接触することが多い。実長などに話とすると中学生やその親に伝わりやすい。

(大西)

学校案内のパンフレットを変えようと思う。何があればいいのか？

(吉川)

スマホからQRコードでHPにとぶようにしてパンフレットに載せてはどうか。HPを見てもらうことが必要。

(染川)

何を載せるかより、どう載せるかが大事。何を伝えたいのか。ある程度プロにお願いしたら良い。

広報専門のチームを作った方が良い。

(教頭)・時間が参りました。本日は貴重なご意見ありがとうございました。